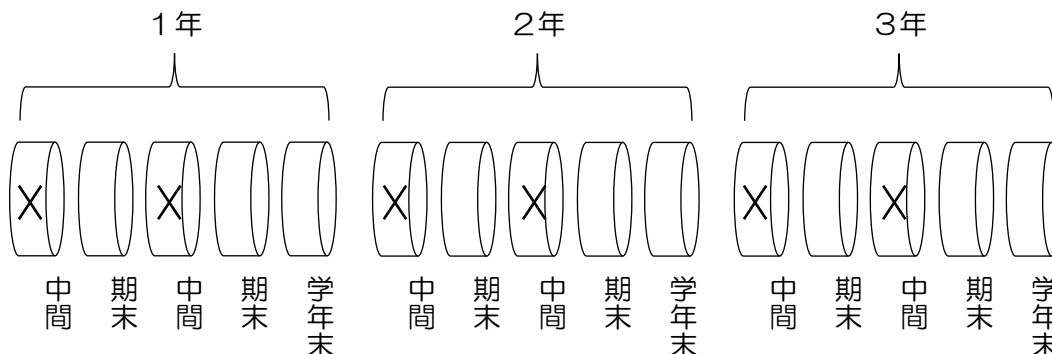


2021年度 向丘中学校教育課程説明会資料

1. 単元テスト・実力テストの実施について

これまで実施してきた定期テストのうち、1学期及び2学期の中間テストを廃止します。



(1) ねらい

中間テストに代わり、単元テストや実力テストを実施することで、生徒それぞれが学習内容の定着を理解し、学びに向かう態度の向上を目指し、さらなる学習内容の理解を図ります。

(2) 単元テスト

国語・社会・数学・理科・英語を中心に、単元テスト・小テストの実施により、丁寧に生徒の状況を把握し、理解が不十分な部分を生徒自身が把握し、再度学習することができる仕組みを構築します。

単元テストの実施時期については、向丘中学校カリキュラムマップに★印をつけています。時期は若干前後する場合がありますが、ご参照ください。

また、単元テスト終了後には、情報端末や、東京書籍タブレットドリルを活用した再テストを実施することもあります。

(例)

	各教科等で重点的に育成する力	4月		5月		6月		7月	
		単元名	時	単元名	時	単元名	時	単元名	時
社会	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力【課[自]】 ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度	4 近世の日本		・近世社会の成立 ★	1	【3】日本のさまざまな地域		2 日本の地域的特色と地域区分 ★	6
		・一体化へ向かう世界	3	・幕藩体制の確立	4	1 地域調査の手法	6	3 日本の諸地域	
		・近世社会の成立	3	・幕藩体制の展開	3	2 日本の地域的特色と地域区分	6	・九州地方	5
				重 幕藩体制の動揺 主 ★	4				

(3) 実力テスト

テスト範囲は当該学期だけでなく、これまでの学習内容を問う問題も実施します。繰り返し学習により、学習内容を構造化し、知識理解の定着と知識活用力を育てます。

出題範囲については、別途生徒にお知らせします。

- ・ 3年生については、4月、6月、8月、10月に実施予定です。
- ・ 1・2年生については、10月、1月に実施予定です。

(出題範囲例)

社会	【歴史】 近世の日本(安土桃山時代～江戸時代)
	【地理】 日本の諸地域 (日本の地域的特色と地域区分、九州地方、中国・四国地方)

(4) テスト結果の連絡

学期に2回を目安に、単元テスト連絡表にまとめてご家庭にお知らせします。

2. 通知表の評価について

(1) 4(5) 観点から3 観点へ

観点別評価項目が4 観点(国語は 5 観点)から 3 観点へ変わります。評価については従来通り、A・B・C で表示されます。評定については、これまで通り 5 段階で表示されます。

(2) 学期ごとの評価から、年間通しての評価へ

従来、1 学期・2 学期・3 学期の評価をそれぞれ示してきましたが、今年度から 1 学期・1 学期～2 学期・年間の評価を示します。

教科	主 な 内 容	観点別			評 定		
		1	2	3	1	2	3
国語	言葉や作品に興味・関心を抱き、学習に積極的に取り組もうとしている。	B	B	A	3	3	4
	他人の意見をしっかり聞き、自分の思いを話すことができる。	B	A	A			
	自分の考えや伝えたい事柄を相手に理解してもらえよう工夫して書くことができる。	B	B	A			
	テーマに沿って作品を読み、自分のものの見方や考え方を深めることができる。	B	A	A			
	言語について知識を深め、様々な機会に活用することができる。	A	B	A			



教科	観 点	観点別			評 定		
		1	1～2	年間	1	1～2	年間
国語	知識・技能	B	A	B	3	4	4
	思考・判断・表現	A	B	A			
	主体的に学習に取り組む態度	B	A	A			

3. クロームブックの活用について

(1) 授業での活用

4 月より、生徒一台にタブレット端末を配布し、授業で活用しています。活用の例としては、次の通りです。

- 様々な情報や興味あることに触れるなど、新たな学びのきっかけにする。
- オンライン教材により、個人の学習速度や習得度等に応じた学習をする。
- Google Classroom を活用した課題の提示及び提出。 など
今後、より一層活用の幅を広げ、生徒の学びをサポートするツールとしていきます。

(2) 家庭での活用

スマートフォンやタブレットパソコンなどが、社会生活や日常生活に浸透する中、子どもたちが、健康に留意しながら様々な情報技術を活用したり、多様な情報やサービスなどから、何が重要かを考え、選択・決定したりできる「情報活用能力」の育成が必要です。

ご家庭での使用についても、HP 掲載「話し合っていますか？家庭のルール（文部科学省）」を参考に、子どもと一緒にルールを考えてください。

4. おわりに

社会が激しく変化をしていく中、学校も大きく変化をしていかなければなりません。タブレット端末を生徒に一人一台配布をしたことは、社会の変化を象徴しているものだと思います。変化に対応していくことは、困難な面もありますが、その変化は必ず成長につながると思います。我々教職員も、変化に対応し、その中で子どもたち一人ひとりが確かな成長を遂げるサポートを全力でして参ります。保護者の皆様のご理解とご協力を、引き続きお願い申し上げます。